

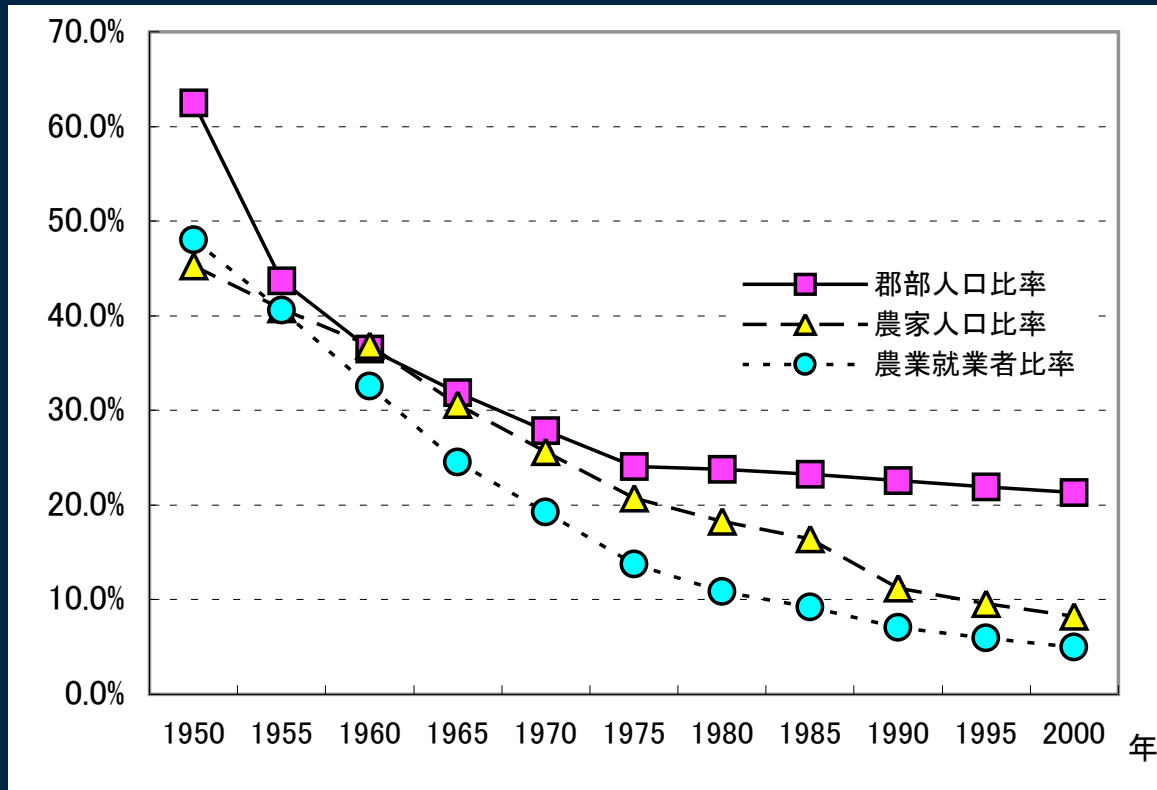
農村の社会的構築

農村社会・社会学特殊研究 第2話

秋津元輝(農学研究科)

農業と農村のズレ

- 農村の辞書的定義



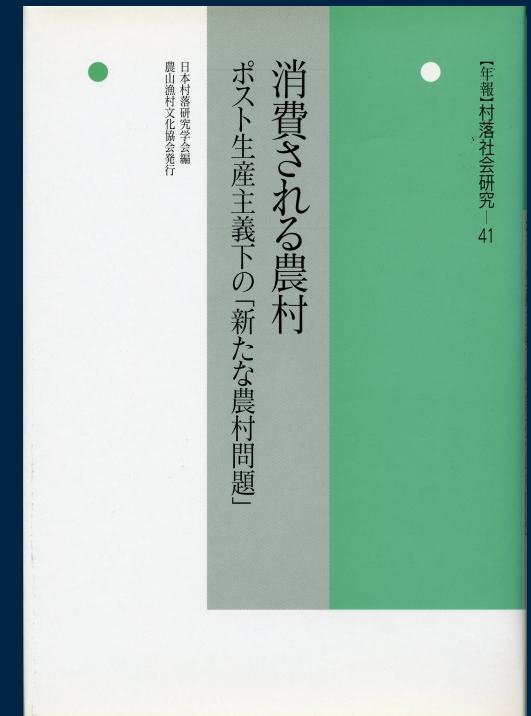
1980年代に乖離が広がる

図1 日本における農業・農村の地位変化

注) 郡部人口、農業就業者比率については、国勢調査結果、農家人口については、農業センサス結果より作成。ただし、農家人口について、1990年以降は販売農家のみを対象にしており、自給的農家の存在は数値に反映していない。

消費される農村

- 農業生産の場としての農村
 - 生産主義時代の農村
 - 消費されるのは農林産物
- 農村という場所が消費される
 - 生産主義の次の時代へ
 - 日本では20世紀末に転換(立川:2005)
 - 各種農村ツーリズム、などの対象として



(農文協、2005年)

農村と政策との直結

- EU共通政策
 - 条件不利地域への補助金支払い
(1992～)、など
 - 日本における農村政策への介入
 - 農業基本法から
 - 農業経営発展が結果的に農村の近代化に至るという前提
- ↓
- 新しい基本法(1998)へ

農村政策について

- 食料・農業・農村基本法

- 第五条(農村の振興)

- 農村については、農業者を含めた地域住民の生活の場で農業が営まれていることにより、農業の持続的な発展の基盤たる役割を果たしていることにかんがみ、農業の有する食料その他の農産物の供給の機能及び多面的機能が適切かつ十分に発揮されるよう、農業の生産条件の整備及び生活環境の整備その他の福祉の向上により、その振興が図られなければならない。

農村社会政策

- ハードからハートへ
 - 「コンクリートから人へ」
 - さまざまな農村人材支援制度
 - 2008年～、総務省、旧自治省系列
 - 2009年度～、総務省、旧自治省系列
 - 2008年度～、農水省
- 新しい「農村」定義が必要とされている

構築主義からのアプローチ

- 「構築主義」とは
 - ある構築主義の定義の紹介
 - 社会問題論が出自
 - スペクター、キッセによる「社会問題」の定義
 - 社会事象・問題の例
 - エスニシティ、家族、権力、アカハラ、など

「都市」と「農村」の構築

- 社会学における近代化の2分法
 - テンニス Tönnies, F. (1855-1936)
 - ゲマインシャフト
 - ゲゼルシャフト
 - クーリー Cooley, C. H. (1864-1929)
 - 第一次集団
 - 第二次集団
 - マッキーヴァー MacIver, R. M. (1882-1980)
- 伝統と近代

表象としての農村

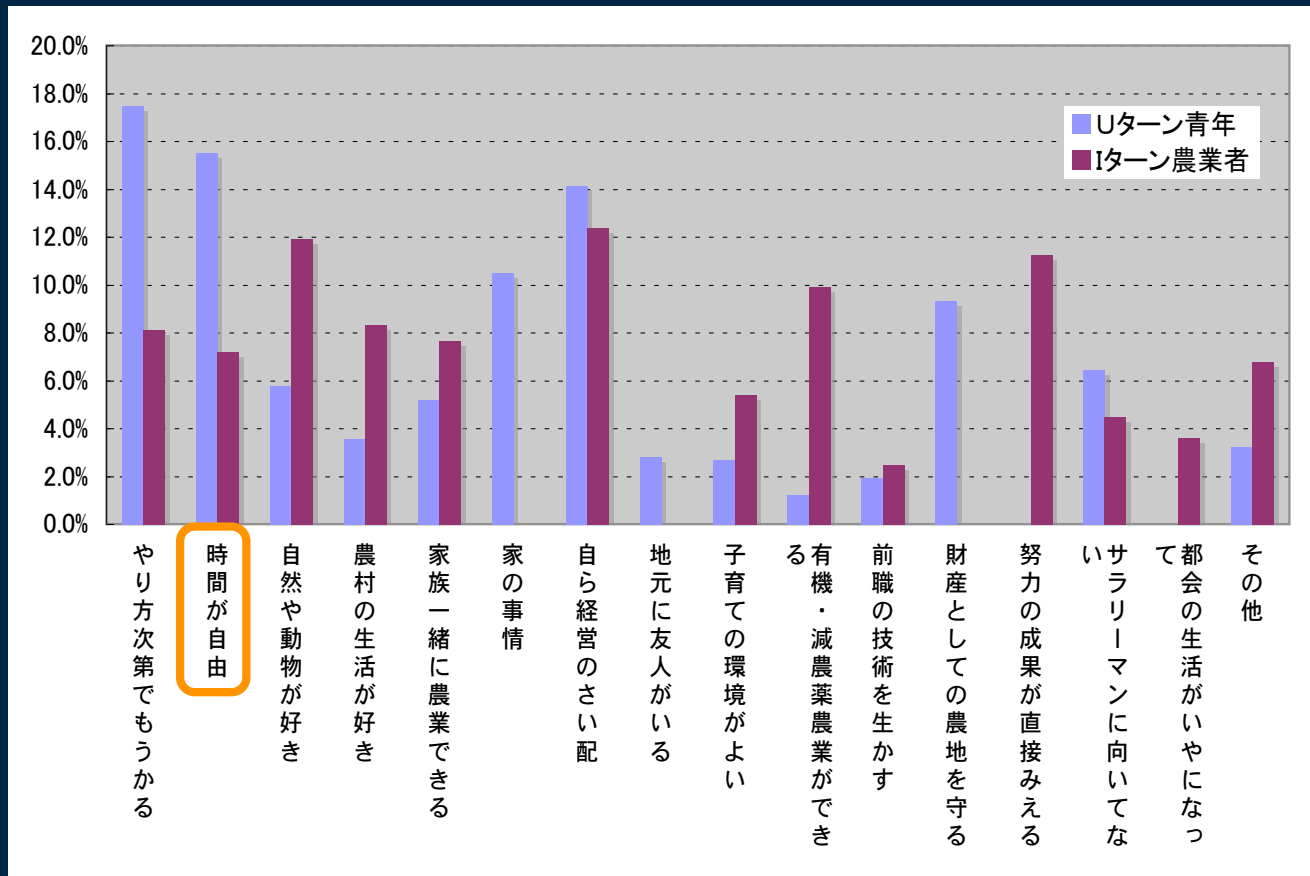
- かつての農村／都市表象
 - 伝統的／近代的
 - 遅れている／進んでいる
 - など
 - 農村表象の傾向
- 現代の農村／都市表象
 - 伝統的／使い捨て
 - 暖かさ／冷たさ
 - スロー／ファスト、など
 - 農村表象の変化

農村と都市のポリティクス

- 「農村」という場所のイメージ
 - 農村ツーリズムの動機
 - 都市が需要するもの
 - このイメージは都市と農村のやりとりから生まれる
- 農村の対応
 - 農村イメージと成功
 - 農村の固有性はどこに行くのか

農村の固有性/主体性

・ Uターン青年と新規参入農業者の意識差(1995)



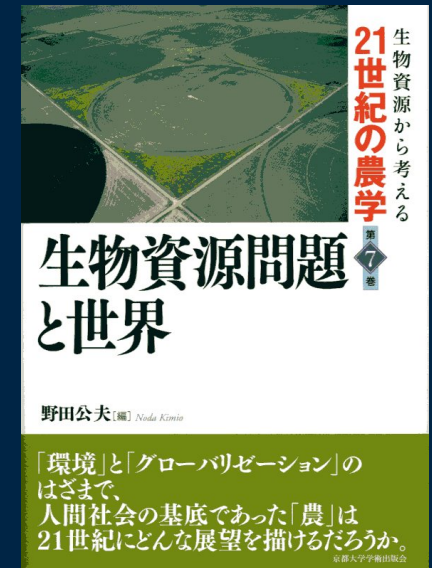
注) 「家の事情」、「地元友人がいる」、「財産としての農地を守る」はUターン青年だけに、「努力の成果が直接見える」、「都会の生活がいやになって」はIターン農業者だけに設けられた項目である。また、回答にあたり項目の選択数の上限が異なっていたので、のべ回答数全体に対する比率を算出し比較した。1995年農水省調査。

豊かさの3局面

- Materials
 - 都市の勝ちか
 - 考え方による違い
- spaces
 - 広ければよいというものではない
 - いろいろ遠いとやっぱり不便
 - ただ自然があっても豊かではない
- time

生活と身体のリズム

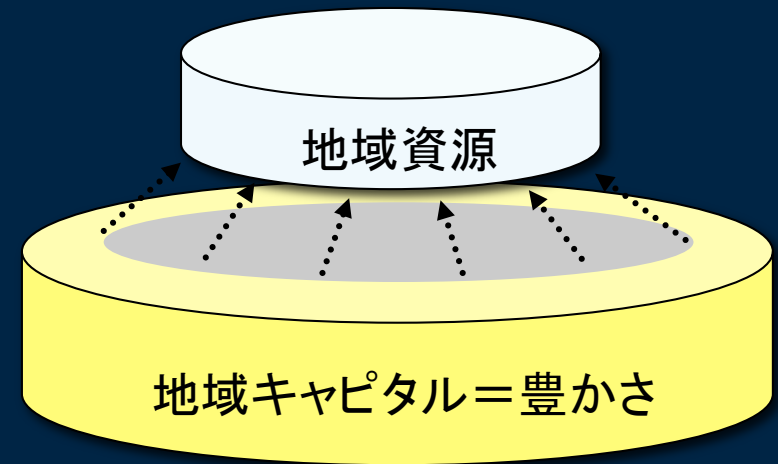
- 2つの時
 - 測る時と示す時
- 自然と接しながら暮らす生活
 - 野山の移ろいと農作業
 - リズムのある生活
 - 周期のリズムと単線的リズム
- 身体化という視点
 - メディアなどでは得られないもの



(2007年、京大出版)

「地域キャピタル」という構想

- 自然キャピタル
- 生活文化キャピタル
- 経済キャピタル
- 統合するモノとしての経営



参考文献

- 赤川学、2006、『構築主義を再構築する』勁草書房
- 内山節、2007、「『むらの思想』と地域自治」『農村文化運動』186号、3-91
- 立川雅司、2005、「ポスト生産主義への移行と農村に対する「まなざし」の変容」『年報 村落社会研究』41、7-40
- 池上甲一、2009、「地域の豊かさと地域キャピタルを問うことの意味」『農林業問題研究』173号、491-497